

平成24年度

岐阜薬科大学大学院薬学研究科
薬科学専攻
博士前期課程（修士課程）

学生募集要項

【一般入学試験】

岐阜薬科大学

平成23年7月

1 アドミッションポリシー

本大学院は「ヒトと環境に優しい薬学（グリーンファーマシー）」を実践し、これを基盤とした高度で先端的な研究を行うことにより、人類の健康及び地域社会の発展に貢献することを基本理念としています。

薬科学専攻では、この基本理念に基づき国際性、高度な専門性と柔軟な発想をもち、創薬、医療、環境領域において指導的役割を担う教育者、研究者、技術者の育成を目指しています。

このような観点から、次のような人を求めています。

- 1) 理科系の基礎学力のある人
- 2) 研究意欲のある人
- 3) あらゆることに努力を惜しまない人
- 4) 自然科学に対する好奇心の強い人

2 募集人員

薬科学専攻 7 名

募集研究室・連携機関

大 講 座	研 究 室 ・ 研 究 所
創 薬 化 学	薬化学、薬品化学、合成薬品製造学
生体機能解析学	分子生物学、薬効解析学
薬物送達学	薬品物理化学、製剤学
機能分子学	生薬学、薬理学、薬品分析化学
生命薬学	衛生学、生化学、微生物学
医療薬剤学	薬剤学、臨床薬剤学、薬物治療学
連 携 大 学 院	岐阜県保健環境研究所、岐阜県国際バイオ研究所

3 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び平成24年3月に卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位

置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者

- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

4 出願期間

【一次募集】平成23年7月20日（水）～7月27日（水）まで

【二次募集】平成23年11月28日（月）～12月5日（月）まで

※ 郵送の場合は出願期間内に必着とします。

※ 一次募集で定員に達した場合は、二次募集は行いません。

5 出願手続

入学志願者は、入学願書等、以下に指定する書類に、入学検定料を添えて提出してください。

他大学からの志願者は、志望する研究室の指導教員と連絡し、事前に協議の上、出願書類を提出してください。

- | | |
|---|--|
| (1) 入学願書 | 本学から交付する用紙（様式第1号）を用い、本人が所定の事項を記入してください。（志望研究室は第1～第3志望を記入してください。） |
| (2) 写真票
受験者証票等 | 本学から交付する用紙（様式第2号）を用い、本人が所定の事項を記入してください。 |
| (3) 学業成績証明書 | |
| (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書 | |
| (5) 写真(1枚) | 縦4cm・横3cm・胸部以上・無帽・正面像写真（出願前3か月以内に撮影したもの。）を、写真票の所定の欄に貼付してください。 |
| (6) 受験者証票
送付用封筒 | 本学から交付する封筒（本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手80円分を貼付してください。） |
| (7) 入学検定料 | 30,000円 郵便局で作成した「普通為替証書」に限ります。
(受取人指定欄は記入しないでください。) |
| (8) 連携大学院での研究指導を希望する者は、事前に研究科長に相談のうえ、出願書類を提出してください。 | |

6 試験期日及び場所

【一次募集】

期 日	試 験 科 目	時 間	場 所
平成23年9月1日(木)	専 門 科 目	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	岐阜市大学西 1丁目25-4 岐阜薬科大学
	英 語	1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	
	面 接	1 4 : 0 0 ~	

【二次募集】

期 日	試 験 科 目	時 間	場 所
平成23年12月21日(水)	専 門 科 目	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	岐阜市大学西 1丁目25-4 岐阜薬科大学
	英 語	1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	
	面 接	1 4 : 0 0 ~	

7 試験科目

	学 系	試 験 内 容
専 門 科 目	基礎有機化学系	炭化水素、立体化学、共鳴、置換反応と脱離反応、芳香族化合物、カルボニル化合物、アルコール、アミン、有機化合物の構造
	基礎物理化学系	化学平衡と相平衡、熱力学、反応速度及び物質の構造、界面及び流動現象
	基礎生物化学系	細胞の構造と機能、生体成分（糖質・脂質・アミノ酸など）の代謝、ビタミンとホルモンの作用、遺伝情報の複製と発現
	※上記3学系の中から、1学系を選択し解答する。	
英 語	科学に関する内容（英和辞書貸与）	
面 接		

8 選 抜 方 法

選抜は、学力検査及び面接の結果を総合して行います。

9 合 格 発 表

【一次募集】平成23年9月2日（金）

【二次募集】平成23年12月22日（木）

本学（新学舎）掲示板に掲示するとともに、本人あて通知します。

なお、本学ホームページ（<http://www.gifu-pu.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲示しますが、掲示板のものを正式発表とします。電話による問い合わせには一切応じません。

10 入 学 料 及 び 授 業 料

入学料 … 岐阜市内在住者 282,000円 岐阜市外在住者 504,000円

授業料 … 年額 535,800円（前期、後期の2期に分納）

※ 上記は、平成23年度入学者の納入金額を示していますが、入学時に改定されることもあります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 岐阜市内在住者とは、本人または配偶者、もしくは一親等の親族が平成23年4月1日以前から引き続いて岐阜市内に居住（住民登録）している者をいいます。

11 注 意 事 項

- (1) 入学願書等を送付する場合は「書留郵便」とし、封筒の表に「博士前期課程入学願書」と朱書きしてください。
- (2) 出願手続後の書類の変更及び入学検定料の払い戻しはできません。
- (3) 受験に関し、虚偽の記載又は不正申告等の事実があることを認めたときは、合格を取り消すことがあります。
- (4) 照会及び出願書類等の請求は本学教務厚生課あてとし、郵便で請求する場合は、あて先を明記し、郵便切手140円分を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封してください。
- (5) 本学窓口での受付時間は、平日午前9時から午後4時までとします。

12 連 携 大 学 院 に つ い て

本大学院は、研究領域の拡大と教育の多様化を目的として、特色のある設備と機能を有する岐阜県保健環境研究所及び岐阜県国際バイオ研究所との間でそれぞれ協定を結び、連携大学院を構成しています。各研究機関の研究者は、本学の客員教授として当該研究機関において学生の研究指導を行います。

13 外国人学生の出願について

外国人学生として入学を志願する者は、前記出願書類のほかに別途書類を提出する必要があります。

また、入学試験は、原則として日本人学生と同時に、同一方法をもって行いますが、特別の事情があると認められる場合には、特別の選抜試験制度及び入学時期の特例がありますので、事前に志願する研究室の指導教員に相談のうえ、出願手続きを行ってください。

14 個人情報の取扱い

入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の目的以外には一切利用しません。

平成23年7月

〒501-1196 岐阜市大学西1丁目25-4

岐阜薬科大学大学院薬学研究科

電話（０５８）２３０－８１００（代表）

URL: <http://www.gifu-pu.ac.jp>

【問合せ先】

教務厚生課 大学院担当

電話（０５８）２３０－８１００（内3589）

岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻

大講座	研究室・指導教授	研 究 内 容
創薬化学	薬化学 永澤 秀子	1 低酸素微少環境を標的とする癌治療薬及び診断薬の創製 2 生命反応解明のための機能性分子の創製とケミカルバイオロジー研究 3 創薬のための多機能性指向型合成法の開発 4 分子イメージングプローブ及び新規生物機能分子の開発
	薬品化学 佐治木 弘 尚	1 機能選択的不均一系触媒の開発と医薬品化学的応用 2 重水素標識化法の開発と微量成分分析法への応用 3 効率的合成法の開発と医薬品・プロセス化学的応用 4 芳香族塩素系環境汚染物質の簡便無毒化法の開発と実用化
	合成薬品製造学 伊藤 彰 近	1 分子状酸素を利用する環境負荷低減型酸化反応の開発 2 光を利用する環境負荷低減型新規反応の開発 3 有機分子触媒を利用する不斉反応の開発研究 4 ゼオライト等無機多孔性物質の有機合成的応用研究
生体機能解析学	分子生物学 古川 昭 栄	1 神経栄養因子の生理作用を制御する物質の探索と方法の開発 2 神経幹細胞の分化機構の解明とその医学的応用 3 中枢神経軸索の再生をめざした開発的研究 4 脳の構築過程における神経栄養因子の機能の解明
	薬効解析学 原 英 彰	1 神経細胞死の機序解明に関する研究 2 脳卒中などの中枢性神経疾患に関する病態解明及び創薬研究 3 緑内障などの網膜疾患に関する病態解明及び創薬研究 4 健康補助食品の開発と薬理学的研究
薬物送達学	薬品物理化学 近藤 伸 一	1 固体プラズマ化学の基礎と高分子プロドラッグ開発に関する研究 2 乾式メカノケミカル加工によるDDSの設計と開発 3 プラズマ化学の基礎と表面機能化医用高分子の開発に関する研究 4 プラズマ加工による臓器ターゲッティングDDSの設計と開発
	製剤学 竹内 洋 文	1 高効率、低侵襲薬物投与方法（眼内、経肺など）の開発 2 微粒子分散系を利用したDDS製剤の研究 3 薬物の溶解・吸収特性改善のための粒子設計研究 4 人に優しい固形製剤設計（口腔内速崩壊錠、フィルム製剤）
機能分子学	生薬学 飯沼 宗 和 ※	1 民族伝承薬物に立脚した生活習慣病予防への応用に関する研究 2 生態化学物質の機能解明と高度利用に関する研究 3 ポリフェノール類のライブラリー構築 4 科学的根拠に基づく特産品の開発研究
	薬理学 稲垣 直 樹	1 気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患の病態の解明と治療薬の開発 2 掻痒を伴うアレルギー性皮膚疾患の病態の解明と治療薬の開発 3 シックハウス症候群の発症機序の解明と治療薬の開発 4 食物アレルギーの病態の解明と治療薬の開発

大講座	研究室・指導教授	研 究 内 容
機能分子学	薬品分析化学 宇 野 文 二	1 生理活性物質のプロトン移動と共役する電子移動に関する研究 2 DNAの酸化損傷に関する有機電気化学的研究 3 時間分解蛍光および電気化学検出法による超高感度分離分析法の開発 4 キャピラリー電気泳動法の分離理論とその応用に関する研究
生命薬学	衛生学 永 瀬 久 光	1 環境化学物質の分子毒性学的研究及び環境リスク評価手法の開発 2 有害化学物質の環境内動態及び無害化処理法の開発 3 食品・中草薬による疾病予防に関する研究 4 哺乳動物の性分化に関する研究
	生化学 原 明 ※	1 動脈硬化発症機序における酸化HDLの意義に関する研究 2 キノン体による炎症機序の解明 3 ステロイド及び糖代謝酵素を標的とする医薬品開発の基礎的研究 4 酸化還元酵素の構造生物学的研究
	微生物学 森 裕 志 ※	1 腸管内感染における粘膜免疫を主体とした生体防御機構に関する研究 2 炎症性細胞の活性化におけるシグナル伝達機構に関する研究 3 腸内常在細菌に及ぼす天然物由来物質の影響に関する研究 4 潰瘍性大腸炎の発症機序及び治療薬開発に関する研究
医療薬剤学	薬剤学 平 野 和 行 ※	1 医薬品の作用・副作用発現機序に関わる遺伝子群の検索と同定 2 前立腺癌の転移機序と転移抑制に関する研究 3 医薬品による水の動態変化に関する研究 4 医薬品の適正使用に関する研究
	臨床薬剤学 足 立 哲 夫	1 抗酸化酵素の発現調節機構に関する研究 2 酸化ストレスによる神経系細胞の機能障害に関する研究 3 糖尿病とその関連疾患に対する予防薬の探索研究 4 小胞体ストレスによる病態惹起・進展機構に関する研究
	薬物治療学 保 住 功	1 メタロチオネインとバイオメタルの機能解明と臨床への応用研究 2 メタロチオネイン、iPS細胞を活用した神経変性疾患の創薬研究 3 筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病等の病態解明と創薬研究 4 ファール病（特発性両側性脳内石灰化症）の病態解明と創薬研究

※印は平成25年3月定年退職予定の教員

連 携 大 学 院

連携機関・指導教授	研 究 内 容
岐阜県保健 環境研究所 客員教授 坂 井 至 通	1 大麻草栽培における植物遺伝学的種苗選別の研究 2 医薬品・農薬・食品添加物等のLC/MS/MS分析法に関する研究 3 レジオネラ菌、腸管出血性大腸菌、薬剤耐性菌等の感染症分子疫学的研究 4 天然資源成分の強心作用アッセイ法に関する研究
岐阜県国際 バイオ研究所 客員教授 伊 藤 雅 史	1 抗酸化酵素の発現調節による酸化ストレス制御に関する研究 2 神経成長因子を介した神経細胞保護に関する研究 3 遺伝子発現を指標としたファイトケミカルの機能性評価に関する研究 4 microRNAによる前立腺癌の薬剤耐性制御に関する研究